■乾 燥 性■ AUコート・AUコートクリヤー共通

温　　度	10℃	23℃	30℃
可 使 時 間	2時間	2時間	1時間
上塗り可能時間	6～48時間	4～48時間	2～48時間
歩行可能時間	18時間以上	12時間以上	12時間以上
重作業可能時間	48時間以上	24時間以上	24時間以上

※ 乾燥時間は施工環境により多少前後しますのでご注意下さい。

■性状・物性■ AUコート

試 験 項 目	試験結果	試 験 条 件
外 観 A 液 B 液	透明粘稠液 着色粘稠液	
引っかき硬度	2 H	JIS K 5600鉛筆法
摩 耗 質 量	50mg	JIS K 7204 テーバー式摩耗試験機、CS-17 9.8N 回転数1000回
鏡 面 光 沢 度	90以上	JIS K 5600入射角60度
耐 候 性	異常なし	サンシャインウェザーメーター1000時間
ホルムアルデヒド 放 散 等 級	F★★★★	JIS K 5601-4-1

■耐薬品性・耐油性■ AUコート・AUコートクリヤー共通

試 験 項 目	結果	試 験 条 件
耐 水 性	◎	水道水、7日間浸漬
耐 塩 水 性	◎	20%塩水、スポット試験48時間
耐 溶 剤 性	○	トルエン、スポット試験48時間
	○	キシレン、スポット試験48時間
	◎	エタノール、スポット試験48時間
耐 酸 性	◎	10%塩酸、スポット試験48時間
	◎	10%硫酸、スポット試験48時間
	◎	10%硝酸、スポット試験48時間
	◎	10%酢酸、スポット試験48時間
耐アルカリ性	◎	10%苛性ソーダ、スポット試験48時間
	◎	10%アンモニア、スポット試験48時間
耐生活材性	◎	飽和砂糖水、スポット試験48時間
	◎	醤油、スポット試験48時間
	◎	ソース、スポット試験48時間
耐 油 性	◎	サラダ油、スポット試験48時間
	◎	灯油、スポット試験48時間
	◎	エンジンオイル、スポット試験48時間
	◎	切削油、スポット試験48時間

※ 判定 ◎=異常なし/○=やや艶引け　※ スポット試験は、JIS A 5705に準拠
※試験結果は、弊社における試験に基づくもので、保証値ではありません。

施工上のご注意・メンテナンス

■施工上のご注意■

AUコート・AUコートクリヤー共通

1. 下地の砂、ゴミ、ホコリ、油等を完全に取り除き、下地との付着を高めるため、事前にポリッシャー・サンダー・研削機にて下地調整を必ず行って下さい。また新設コンクリート、モルタル面の表面には、レイタンス(遊離アルカリ)による脆弱層が形成されるため、密着不良の原因となります。必ず、ワイヤー付きポリッシャー等でレイタンス層を完全に除去して下さい。また、刷毛引き仕上げコンクリート面に施工する際は、当社までお問合せ下さい。強度が低いモルタル・セメント系下地調整材は、破壊される事により剥離する場合がありますので使用しないで下さい。
2. コンクリート・モルタルの養生不足は、水分の影響によりフクレ、硬化不良を、また、アルカリの影響により密着不良が発生する恐れがあります。コンクリート・モルタルは打設後、常温乾燥で夏期3週間以上、冬期4週間以上の期間が必要です。目安として、含水率が高周波水分計ケット社製HI-520・HI-520-2で測定し、コンクリートレンジの表示値が5%以下、かつpH9.5以下になってから施工して下さい。また、降雨直後で下地が水分を含んでいる場合は、2日以上乾燥させて下さい。
3. コンクリート・モルタル等に発生した亀裂は、Uカットしてフローンエポパテなどを充填し、亀裂面が平滑になるように研摩して下さい。
   旧塗膜がある場合は、当社までご相談下さい。
4. AUコート・AUコートクリヤーは、2液反応硬化型ですから、可使時間に制限があります。
   施工時の温度、施工面積、作業人員等を考慮して、無駄のないように材料を配合して下さい。
5. ご使用になる環境を充分に考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。
6. 床面に貼り付けたラインテープ等を除去する際塗膜が剥がれる場合があります。
7. タイヤ等のゴム製品が長時間接触していると、塗膜の汚染や剥離が生じる場合があります。
8. 床暖房やロードヒーティング床面には塗装しないで下さい。剥離や雪解けが悪くなるなどの不具合が生じる場合があります。
9. 気温5℃以下湿度80%以上では使用しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

10℃以下	15～25℃	30℃以上
硬化後退 (カブリ、シワ、軟化等発生)	最　適	硬化促進 (ポットライフ短縮)

10. 常時、水を使用される部位については、あらかじめ下地モルタル等に水勾配をつけて下さい。
11. 施工時は引火、爆発、中毒等の事故防止のため、充分に換気をし、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ・手袋等、保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
12. 直接皮膚に触れないよう充分に注意して下さい。もし触れた場合はウエス等で充分に拭き取り中性洗剤で洗って下さい。
13. 材料の保管、取り扱いについては、消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、充分な管理をお願いします。
14. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので施工時及び施工後の換気を充分に行って下さい。
15. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。
    容器、塗装具などを洗浄した廃液は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼす恐れがありますので、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関連する法規に従って処理を行うか、許可を受けた産業廃棄物業者に委託して処理して下さい。

■メンテナンス■

1. 日常の清掃は、毛先の柔らかい「ほうき」でホコリを取り、乾いたモップで拭いて下さい。出入口には、防塵マットを敷いて下さい。
2. 汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してモップで水洗いして下さい。乾いたモップで水をよく拭き取り、水分を残さないで下さい。
3. 高濃度アルコール、次亜塩素酸系消毒液が長時間床面に付着して放置された状態または長期に渡り繰り返し床面に滴下した状態ですと、白化、艶引けの原因となります。こまめに拭き取りを行うか、クリヤー系トップコート(AUコートクリヤー)を塗布することで不具合を抑制できます。
4. アルカリ、酸、薬品、油等が床にこぼれた場合、ウエス等で拭き取り、モップで水洗いして下さい。乾いたモップで水をよく拭き取り、水分を残さないで下さい。
5. 化学工場などでは、毎日水洗いし化学物質の蓄積を防いで下さい。
6. 月1回程度のワックスがけをしていただければ、美しさをより長く維持していただけます。

引火性あり	警　　告	有害性あり	感作性あり
	1.引火性の液体である。 2.有機溶剤中毒の恐れがある。 3.健康に有害な物質を含有している。 4.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。 5.変異原性の恐れがある。 6.発癌性の恐れがある物質を含有している。		カブレ 注 意
業 務 用	《注意事項》1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので取扱いについては、容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。 ※SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。		

●お問い合わせは・・

東日本塗料株式会社

本　　社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
埼 玉 工 場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。
※このカタログは植物油インキを使用し、環境保全や大気汚染の低減に貢献しています。
※本書に収録したものの一部または全部の無断複製、転載を禁じます。

URL https://www.hnt-net.co.jp　CATALOG NO.23 ´25.04.3000

HIGASHI NIPPON PAINT PRODUCTS

無鉛

F★★★★

AUコート

2液アクリルウレタン薄膜床用塗料

東日本塗料

耐候性

耐候性に優れた
アクリルウレタン樹脂を
使用しているので屋外施設の
モルタル･コンクリートへの
使用も可能です。

密着性 耐摩耗性

ウレタン樹脂特有の緻密な
塗膜ですので密着性に優れ
優れた耐摩耗性を発揮し、
床面を保護します。

AUコート

アクリルウレタン薄膜床用塗料

耐薬品性

耐酸･耐アルカリ･耐水
耐塩水性に非常に
優れています。

防塵性

コンクリート･モルタルの
劣化や発塵、汚れやホコリの
付着を防ぎます。

■ 用　途 ■

内外部モルタル･コンクリート床面

- ■ 工場
- ■ 倉庫
- ■ プールサイド
- ■ 廊下･階段
- ■ 駐車場

※タイヤ接地面は剥離する可能性がありますので、下地の研磨処理は念入りに行って下さい。
また、大型車やグリップ仕様が強いタイヤの車を駐車する場合は、厚膜タイプの塗床材を推奨します。

■ 色　相 ■

※色相はフローン床材
色見本帳をご参照下さい。

■ 常備色（6色）

A-1/マスカットグリーン
A-2/エメラルドグリーン
A-3/フレッシュグリーン
A-4/フォックスグレー
A-5/サンドベージュ
A-6/スカーレットブラウン

■ 標準色（15色）

※受注生産

■ 指定色

※イエロー系･赤系等の明度及び彩度の高い色は、隠ぺい性が低いので上塗り工程一層目に共色（調色品：白＝1:1混合品）の塗装をおすすめします。また、下地の色、凹凸の状況、下地の吸い込み等の条件によっては、上塗り工程が標準塗装回数より多くなることがあります。

■ クリヤー

同一製品でも生産ロットが異なると、常備色･調色品共に色が異なる場合があります。特に、材料追加注文などで異なるロットの製品を塗り継ぎした場合、仕上りに支障をきたす可能性がありますので、施工の際は、同一ロット、同一方法で、見切りの良いところまで仕上げて下さい。

■ 製品仕様 ■

品　名	容量 A液	容量 B液	容量 セット	配合比(重量比) A液	配合比(重量比) B液	標準塗装面積
AUコート	3kg	12kg	15kg	1	4	0.15kg/㎡×2回塗りで50㎡
	1kg	4kg	5kg			0.15kg/㎡×2回塗りで16㎡
AUコートクリヤー	3kg	12kg	15kg	1	4	0.15kg/㎡×3回塗りで33㎡
	1kg	4kg	5kg			0.15kg/㎡×3回塗りで11㎡
トップ14シンナー ※	16ℓ			希釈割合 30%		15kgセットに対し4.5kg
	4ℓ					5kgセットに対し1.5kg

希釈割合
ローラー･ハケ
20～40%
スプレー
30～40%

※AUコートクリヤーをプライマー代わりに塗る工程では希釈割合が40～70%となり、15kgセットに対し6kg～10.5kg、5kgセットに対し2kg～3.5kg必要です。

■ 標準工法 ■

■AUコート

工法名	工程	材料名	使用量 kg/㎡	上塗可能時間 (23℃)	備考
1 コーティング工法（総合塗膜厚約0.2㎜）	1	素地調整	——	——	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンプライマーH ※1, 3	0.2	2～24時間	A液:B液＝1:1（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	3	AUコート トップ14シンナー	0.15 0.05	4～48時間	A液:B液＝1:4（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌後、トップ14シンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	AUコート トップ14シンナー	0.15 0.05	12時間以上（軽歩行開放時間）	
2 ニート防滑工法（総合塗膜厚1.2mm）	1	素地調整	——	——	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンプライマーH ※1, 3	0.2	2～24時間	A液:B液＝1:1（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	3	AUコート トップ14シンナー	0.15 0.05	直後	A液:B液＝1:4（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌後、トップ14シンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	フローン硅砂6号又は7号（追吹付） ※4	0.3	12～48時間	前工程直後、リシンガン（口径3～4㎜φ）にてフローン硅砂6号、又は7号を散布。硬化後、余剰なフローン硅砂を除去。
	5	AUコート トップ14シンナー	0.2 0.06	4～48時間	A液:B液＝1:4（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌後、トップ14シンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、はけにて塗布。
	6	AUコート トップ14シンナー	0.2 0.06	12時間以上（軽歩行開放時間）	A液:B液＝1:4（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌後、トップ14シンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、はけにて塗布。
3 AUプラチップ仕上（総合塗膜厚約0.9㎜）	1	素地調整	——	——	※施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	フローンプライマーH ※1, 3	0.2	2～24時間	A液:B液＝1:1（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌後、中毛ローラー、はけにて塗布。
	3	AUコート フローンプラチップ ※2 トップ14シンナー	0.15 0.008 0.05	4～48時間	A液:B液＝1:4（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌したAUコートにフローンプラチップを5%加え、トップ14シンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	AUコート フローンプラチップ ※2 トップ14シンナー	0.15 0.008 0.05	12時間以上（軽歩行開放時間）	

※1 吸い込みムラがある箇所はもう1回以上塗布して下さい。
※2 フローンプラチップLを用いたローラー工法では、フローンプラチップLを均一に仕上げるため、必ずローラーネットを用いて施工して下さい。
※3 緻密なコンクリートの場合は剥離の可能性があるため、フローンエコプラ速乾での密着試験を推奨いたします。
※4 AUコートは表面乾燥が速く、乾燥後は硅砂が密着しにくくなるため、工程3施工後は速やかに硅砂の散布を行って下さい。

■AUコートクリヤー

工法名	工程	材料名	使用量 kg/㎡	上塗可能時間 (23℃)	備考
4 AUコートクリヤー コーティング工法（塗膜厚約0.2㎜）	1	素地調整	——	——	※吸い込みムラの発生を抑制するために、新設コンクリート･モルタルは必ず研磨を行い、レイタンスを除去して下さい。詳細は施工上の注意事項をご参照下さい。
	2	（プライマー代わり） AUコートクリヤー トップ14シンナー	0.15 0.06～0.1	4～24時間	A液:B液＝1:4（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌後、トップ14シンナーにて40～70%希釈し、中毛ローラー、はけにて塗布。 ※吸い込みムラがある箇所はもう一回以上塗布して下さい。
	3	AUコートクリヤー トップ14シンナー	0.15 0.045	4～24時間	A液:B液＝1:4（重量比）の割合で計量、混合、電動撹拌機にて撹拌後、トップ14シンナーにて30%希釈し、中毛ローラー、はけにて塗布。
	4	AUコートクリヤー トップ14シンナー	0.15 0.045	12時間以上（軽歩行開放時間）	

※1 下地コンクリート･モルタルの吸い込み状況によっては、部分的なムラが発生する場合がありますのでご注意下さい。
※2 緻密なコンクリートの場合、AUコートクリヤーは使用できません。
※3 AUコートクリヤーの下塗りとして、弊社床用プライマー（フローンエコプラ速乾等）は黄変の恐れがあるため使用できません。